

令和5年度 環境活動スタート事業

1 実施校

本宮市立本宮小学校（4学年）

2 実施日

令和5年9月7日（木曜日）

3 内容

「国がなくなる?! キリバス共和国と地球温暖化」をテーマに、一般社団法人日本キリバス協会代表理事のケンタロ・オノ氏による講演会を行いました。

キリバスの歴史や現状、また、地球温暖化が及ぼす影響について、資料映像（VTR）や写真を交えながら分かりやすく説明しました。



4 講演を聞いての感想

地球温暖化はとてもこわいと思いました。私はあんなにきれいなキリバス共和国がなくなつてほしくないです。日本人が一番食べ物をむだにしていることを初めて知りました。地球温暖化は、すべて人間がおこしたものと分かりました。地球温暖化をおこしたのは人間だけと止められるのは人間しかいないと分かりました。これからは地球温暖化をいつか止められるように努力したいです。

きれいなキリバス共和国が大雨になって、ヤシの木がかれてしまったり、とても大変だと思いました。なので、希望を失ってはいけないこと、食べ物をむだにしないことなど、自分ができることをやっていきたいと思いました。

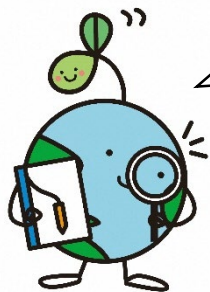
ぼくは、最初とてもきれいな海の写真や動画を見てとてもゆたかで楽しそうな国だと思いました。でも地球温暖化のせいで波がおしよせてきて壊れた村だったり、オノさんにやさしくしてくれた人の家があとかたもなくなっていた写真を見てとてもおどろきました。これいじょうふやさないようにぼくにできることをやりたいです。

ケンタロ・オノさんの話を聞いてそんなことがおこっているんだなぁと思いました。特にケンタロ・オノさんの言葉の「愛の反対とは、にくしみやうらみではなく、無知と無関心」という言葉に心が動かされました。なので自分だけでもできることはやろうと思いました。いつかは小さい国や共和国を助ける仕事につきたいと思いました。

人が人をきずつけ、人が自然をきずつけ、人が生き物をきずつける。きっと元は、もっと素晴らしい世界だったんだと思いました。この話を聞いて、買い物や友達と遊ぶ時などにはあるいていこうと思いました。この世界には、苦しむ生き物がたくさんいる。そんなことをたくさんおそわりました。子供も助けないといけない。でも、その他にも生き物みんな幸せになれる世界をつくりたい。とりもどしたいと思いました。オノ先生が言っていた“希望だけは失わないで”ということばがすごく心にささりました。これからも希望を失わず、生きようと思いました。

ぼくは、とても地球温暖化はこわいなと思いました。どうしてかというと、二酸化炭素が多くなって熱が逃げられなくなって熱くなったり、台風じゃないのにしん水したり、地球温暖化はすごくこわいと思いました。

キリバス共和国と地球温暖化についてくわしく知れました。地球温暖化で植物、動物や住むところ、人間に被害がでることがよく分かりました。これからわたしたちはどういったことができるか考えたくくなりました。



福島県の環境保全の
キャラクター「エコたん」

講演を聞いて、自分にもできそうだったこと、やってみようと思ったことは何かな？また、それを実践してみてどう感じたかな？

・食品ロスをなくす

できるだけ給食や家でのごはんをのこさず食べれました。けどにがてなものもあったのでちょっとむずかしかったです。でも世界のめぐまれない子たちがいるので、食品ロスをなくしていきたいです。



- ・せつでん
- ・ごはんをのこさない

せんぷうきを使っていないときはコードをぬいたり、好ききらいせずにのこさず食べることができました。少しのことだけど多くの人たちにとっていいことなのかなと考えながら工夫してがんばりました。



・ごみの分別

ごみの分別をやってみて、たいへんだなと思ったけど、地球温暖化を少しでもとめるためにもっとがんばりたいと思いました。



- ・ごみ拾い
- ・食べものをのこさないようにする

ごみをひろうこと、食べものをのこさないことは、自分の心もすっきりするし、外国やほかの地いきにもごみが流れたりしないので、これからもつづけていきたいし、ごみをなるべくださないようにしたいです。



・ゴミ拾い

休みの日に家族みんなでゴミ拾いをして、いっぱいあつまりました。このゴミ拾いで、ほんのちょっとだけキリバス共和国はきれいになったと思いました。それで母もうれしそうにしている、いい事をしたなとすっきりした気持ちになりました。

